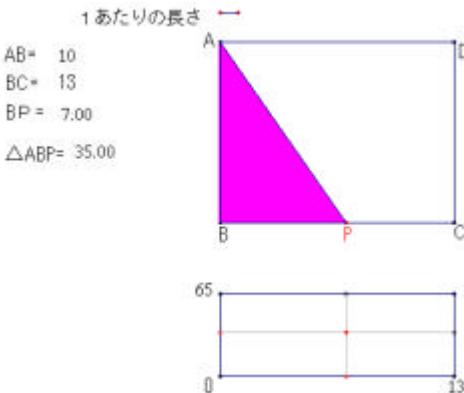
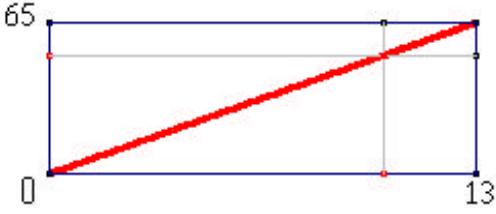


本時の目標と展開	
<p>作図ツールを使い、変化の様子を調べ、変数に着目して三角形の面積の公式や比例関係から式を求める。</p> <p>式やグラフを有機的に用いて、比例への理解をより深め、その関数関係の表現方法よさに気づき、それを利用する力を身につける。</p>	
学習活動	指導上の留意点
<p>本時の学習課題を知り、ブラウザを起動し、HPを開く。</p> <p><a href="http://www2.wind.ne.jp/mow/math/cabri/">http://www2.wind.ne.jp/mow/math/cabri/</a></p>	<p>ブラウザの「お気に入り」やリンク集にホームページを登録しておき、マウス操作だけできるようにしておく。</p>
<p>課題「長方形上の動点」のホームページを開き、学習課題を知る。</p> <p>1あたりの長さ AB= 10 BC= 13 BP= 7.00 <math>\triangle ABP= 35.00</math></p> 	<p>図形を動かす前に、予想をさせ、その予想が正しいか否かを確かめるために、図形を動かすようにさせる。</p> <p>図形を動かし、変化の様子を視覚的に表現するためにシミュレーションを行うことを理解させる。</p> <p>シミュレーションを行う前に、観察のポイントであるグラフの中の点の動きを予想するように助言する。</p>
<p>図形データをダウンロードし、図形を動かしたり、図形の大きさを変えたりして変化の様子を調べる。</p> 	<p>BCの長さを変化させ、シミュレーションを行わせ、BPの長さと三角形の面積関係の関係に気づかせる。</p> <p>アニメーション機能を使いながら、変数に着目させる。</p> <p>三角形の面積の公式、比例関係の両方から式を表せる。</p>
本時のまとめをする。	グラフや式で表したり、動的にとらえたりしたことで理解が深まつたことに気づかせる。